

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・ 事業所 の特徴	・サービスを柔軟に組み合わせる事で、在宅での生活が継続できるように可能な限り応えている。また医療機関、各関連事業所との連携を図る事で、安心して在宅生活を送れるように取り組んでいる。 ・本人様の「～したい。」という思いを実現できるように日々取り組んでいる。					
事業所名	小規模多機能ホーム ひばり	管理者	椿 久美							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 「ノート」をうまく活用できるように、「本人様が話した事を付箋で良いので、貼つて下さい。」等、記入する事が負担に感じられないよう表紙を工夫する。 記入した事を勉強会等を利用して、みんなで共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ノート」記入も職員の負担になっている部分もある。また記入されている方が多い方であれば、記入されない方もいる。 せっかく色々記入しても職員全員での共有ができていない。振り返りがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 何ができるかがむづかしかったかを具体的にしてほしいと感じた。 できていない事も多いと感じた。積み重ねが大切。急にはできない。 他の職員も考えも聞いてみたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が交代で運営推進会議に参加できるようにする。 委員の方々へ行事がある際には前もってお知らせさせて頂き参加して頂く。 全職員が課題を意識できる様に、1~9の課題を書き出して貼り出す。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議をひばりの建物の中で開催するなど計画し、ひばりに入って頂く機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ひばりで一度運営推進会議を開催させて頂いた。他にひばりへ入って頂く機会を作る事ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議はこのまま(星空)で良いと思うが、別にひばりへ行く機会を作つてほしい。又事前に分かれれば、行事への参加等もしてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板等、広報の仕方を考えていく。 運営推進会議の委員、近隣の民生委員にも行事計画書を配布させて頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 以前から、近隣の掃除をひばりを知つて頂く為、また地域でのひばりでの役割と考え、時間を決めて行っているが、まだまだ近隣の方に知られていない現状もある。星空にお住まいで、近隣の掃除や散歩を日課とされ、近隣の方 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の方にひばりを知って頂いたり、ひばりの役割としての掃除は継続している。ただまだまだひばりと星空の事を知つておられる方は少ないと感じている。 掃除に行く職員によっては、「掃除をする事」に専念 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画が長すぎて評価しにくい。ポイントを絞って改善計画を立ててほしい。 近所の方が運営推進会議の委員の中にいない為に、実際の様子が全く分からない。毎回でなくとも良いので近所の方の参加は難しいか? 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議への参加を近所の方や民生委員の方にお願いする。



	<p>との交流を図っている方がいらっしゃる。その方の掃除や散歩に週に一回、同行させて頂く事から始めてみる。同行の際に会った方、話した内容、掃除の状況など今まで通りに記入する。みんなで共有できるようにする。</p>	<p>し、近隣の方との交流ができない職員もいるために改めて職員間での話合いが必要と感じている。</p>		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容や話した内容をきちんと記録に残すようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方からの相談が今期はまだ一件もない状態である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に出ていない他の職員の意見も実際に聞いてみたいと思う。 地域に出向いていく為にはもっと具体的にしてほしい事を決めてみてはどうですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 軒下マップの全員分の作成に当たり、「家族の了解後、近所の方に聞く機会を作る。」
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 頂いた意見で、取り組んだ結果を文章にして会議でお伝えする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が改善されている様子は伝えているつもりであったが、会議の資料に記録されているともっと良かったとの事である。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が解決されている様子はなんとなく伝わってくるが、細かく資料に記録してあると良かった。 	<p>改善計画の進み方が分かるように、運営推進会議での資料を工夫し明確にしていく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 近所の方へ、ひばりの建物の見学外を今一度開催する。 必要物品の場所を誰がみてもすぐに分かるように表示する。 近隣の方と一緒に防災訓練の計画、実施を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 開設 10 週年という時期であり、近所の方を招いて行事を行った。その際沢山の方に参加して頂けた。ただ防災訓練への参加はまだ行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に防災訓練のお知らせがあれば参加したいと思っている。 近所の方にもぜひ参加して頂ける工夫が必要ですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画を事前に委員の方や近所の方に提示する。参加して頂ける工夫を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 10 月 6 日 (19 : 30~20 : 30)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	森山・岩元・大久保・宮本・淵上・小島・中村・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	6人	1人	10人

前回の改善計画	利用開始前の相談があった時点で、ケアマネージャー以外の担当者を決める。利用前の訪問など担当者と一緒にになって行い、本人様・家族の困りごとや希望するサービスの意向を確認する。また、利用開始から、暫くは自宅での様子、ひばりでの様子を家族へ報告する。送迎時に会う機会がある家族へは挨拶を行い、必要時にまめに報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規の在宅の方への訪問時には CM 以外の職員にも同行してもらっているが、担当というわけではなく、その日にいる職員と行っている。 送迎時に会う家族はほとんどいない為、こまめに状況報告を電話にて行うように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	4	3	1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか	0	6	4	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	5	2	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	4	4	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	CM 以外の職員も新規の方の利用前、自宅訪問を一緒に行っている。その場で本人様・家族の困り事の確認・希望されるサービスの確認を行っている。
	情報を職員で共有できるように、連絡帳を使い全職員へ報告している。
	また、利用開始後も状況をこまめに家族へも連絡している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	本人様・家族の意向の確認後、「〇〇したい」というライフサポートプランを作成しているが、その表がどこに保管されているか職員が理解できていない。また「〇〇したい」という思いがずれている事もある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	ライフサポートプランを全職員が簡単に目に触れる事ができる様に、保管方法を検討、実施する。（以前は全員分のライフサポートプランだけ綴っていた。その方法に戻すか？本人様のケース記録の前に綴りなおすかどうか、他に良い方法はないか？） 毎月 25 日頃モニタリングとして、「〇〇したい」という思いとずれていなかどうかを担当者に評価してもらう。モニタリングの方法の勉強会を開く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 2810 月 6 日 (19 : 30~20 : 30)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	森山・岩元・大久保・宮本・淵上・小島・中村・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	4人	3人	3人	10人

前回の改善計画

以前から登録されている方、新しい方、すべての方に対して「思い・目標」についてアンケート・直接聞き取りを実施する。また知り得た情報を職員が共有できるように、「ノート」を作り、書き込み（付箋や箇条書き）を行う。その方の必要な時期（思いに期間があるとき・体調の気分の変化時等）を職員みんなで、見極め含め思いをかなえる為にミーティングを開催する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ノートへの記入は今回「入浴時」に重点的に聞き取りを行い、メモに書き貼り付けてきた。ただ入浴当番を同じ職員が行う事が多く情報に偏りができてしまった。またノートを活用したミーティングが出来なかつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	0	1	4	5	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0	1	4	5	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	0	5	5	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	0	4	6	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ノートを作り、本人様や家族からお聞きした事を付箋やメモに書き、貼り付けをしている。記入するためには何か新しい情報はないかを考えて話しをお聞きしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

せっかく作ったノートの見直しや共有ができていない。
また、言葉にされない方、できない方の思いが分からぬ。情報がない。また聞き取りをする機会を作れない。（仕事に追われ）

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

全員を一齊に同じように知ろうというのではなく、今みんなで考えていく必要がある方2名位を決めて始めてみる事とする。

その2名は現在状態に変化があり、職員もどう接してよいか迷ってしまう方等を上げてみる事とする。12月の勉強会で2名を決めさせて頂く事とする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 28 年 10 月 6 日 (19 : 30~20 : 30)
3. 日常生活の支援	メンバー 森山・岩元・大久保・宮本・淵上・小島・中村・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	5人	5人	10人

前回の改善計画	日常生活の支援についても、項目 2 で作るノートを活用する。付箋や箇条書き等で書き込む事で、職員の負担にならないように工夫する。また、以前の暮らしを知っておられる方(友人・兄弟・近所の方等)がおられないか、家族へ再度聞き取りをさせて頂き、その方に本人様も一緒に面会に行かせて頂く。その中で教えて頂いた事もノートに必ず書き込むようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	子供さん以外から情報を頂く機会がなかった。また子供さんは今の生活をどうかしてほしいという思いだけが大きく「昔は昔」と思っている。説明をしたつもりでもなかなか理解頂けなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	0	2	8	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	2	6	2	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?	0	1	4	5	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	5	3	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか?	2	4	4	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	基本的な身体介護はできていると感じる。また一人一人の身体の変化や、気持ちの変化にも気づいている職員は多いと感じている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	以前の暮らし方が分からぬ方も多い。 身体面や気持ちの変化にせっかく気付いても職員で共有できていない。 声にならない声を聞きとれていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	全員を一斉に同じように知ろうというのではなく、今みんなで考えていく必要がある方 2 名位を決めて始めてみる事とする。 その 2 名は現在状態に変化があり、職員もどう接してよいか迷ってしまう方等を上げてみる事とする。12 月の勉強会で 2 名を決めさせて頂く事とする。(項目 2 と同様)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 10 月 27 日 (19:30~20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	森山・岩元・大久保・宮本・淵上・中村・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	2人	8人	10人

前回の改善計画	最近利用開始された方の家族から了解を頂いたうえで、その方の地域を回ってみる。その方の地域資源マップを作っていく。また本人様と家族との関係が切れないように、家族会を定期的に開催できるように計画していく。職員も交代で家族会に参加できるように工夫していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	なかなか一人の御利用者様の地域にでかけて行くことが出来なかった。その為地域資源マップもできなかった。 家族会も開催できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	1	4	5	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	2	6	2	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	3	7	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規の方については、家族から近隣の方についてお聞きする事はできている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様の日々のケアで手一杯になり、なかなか地域へ出て行く事ができなかつた。その為に資源マップもできなかつた。 家族会も開催したいが計画すら立てる事が出来なかつた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) まずは家族会をぜひ今期中には開催できる様に、ご家族様へ意向の確認後、計画を立て実施する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 10 月 27 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	森山・岩元・大久保・宮本・淵上・中村・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	4 人	3 人	10 人

前回の改善計画	対機能性のある柔軟な支援についても、項目 2 で作るノートを活用する。本人様・家族の言葉をそのまま付箋や箇条書きにする。ノートの見直しは、現状の勉強会にて行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ノートの活用が出来なかった。また情報にも偏りが多かった。見直しもできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	0	3	7	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	3	2	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	5	1	3	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	0	6	3	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	一人一人の思いで自宅から来られる方は「訪問・通い・宿泊」と利用されている様に感じる。柔軟に応じている。日々の気づきはできている。自分達だけで支えようとは思っていない。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	自分達だけで支えないと思っているが、社会資源に頼る事もなかった。また色々な気づきはあるが、それが記録やミーティングにつながらっていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	項目 2 と同様に全員を一齊に知ろうというのではなく、2名を決めて実践していく。その2名は12月の勉強会にて決定していくこととする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 11 月 10 日 (19 : 00~20 : 30)
6. 連携・協働	メンバー	沖・森山・岩元・宮本・淵上・小島・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	1人	7人	10人

前回の改善計画	定期的に開催される運営推進会議には現在は管理者とCMで参加しているが、今後他の職員も交代で数名づつは参加してもらう。各サービス機関との話し合いは、利用者の更新月には必ず開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議に他の職員が参加することが勤務上どうしても困難で出来ていない。また各サービス機関との話し合いも実行できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	1	7	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	1	9	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	1	9	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	4	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	どうしても必要な方で必要な時には各サービス機関へ連絡を取っている。地域の子供達や住民は行事があるときには参加して下さっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	運営推進会議に他の職員が参加できていない。勤務上管理者、CM以外が現場を離れることが困難である。勤務から検討しないといけない。 各サービス機関との話し合いが継続できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	勤務を考えて他の職員が運営推進会議に参加する事ができるようにする。また運営推進会議もひばりにて開催できるように考える。 各サービス機関との話し合いも計画、実行していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (19:00~20:30)
7. 運営	メンバー 沖・森山・岩元・宮本・淵上・小島・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	3人	2人	10人

前回の改善計画	運営というと難しい項目ではあるが、利用者一人一人を支える視点に立つ為に、まずは勉強会や話合いの場面で、職員みんなが発言できるようになる。職員によっては人の前で意見を言う事を恥ずかしいと感じている職員もいるために、司会をしている職員が発言を促せるように配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会では出席する職員が発言できるよう、発言を促している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	4	4	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	3	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	4	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	4	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 一人一人に意見を司会者が聞くようにしている。家族や地域から頂いた意見や苦情を運営に活かせるようにその都度話し合いを行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域でひばりができる事を行っているが、必要とされているかが疑問が残る。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今行っている行事や掃除をこれからも継続していく。 近隣の方との会話から、ひばりに求めておられる事はないか考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 11 月 10 日 (19 : 00~20 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	沖・森山・岩元・宮本・淵上・小島・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	3人	6人	10人

前回の改善計画

職場外の研修については、だれがどの研修に参加しているかが分かるように、表を作る。みんなが同じように参加できる様にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

職場外の研修は参加する機会も多いが誰が何に参加しているかの表はできていない。家の事もあり夜の研修に参加することに限界がある職員も多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	6	0	4	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	2	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	10	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	5	4	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内の研修への参加はほぼ全員できている。職場外の研修は偏りが出ないように参加への声掛けを管理者より行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員全員が平等に研修へ参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員一人一人がどんな研修に行きたいのかをまずは表にしてみる。その研修が職場内・外に関係なく開催される場合にお互いが声掛けができる様にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 11 月 10 日(19:00 ~ 20:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	沖・森山・岩元・宮本・淵上・小島・福永・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画	職員間において、利用者への態度でおかしいと感じた時には、お互いで話しができるようになる。「どうしたの?今日は体がきつい?何かあったの?」等、伝えやすい言葉を選ぶ、まずは声を職員間でかけるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	なかなか他の職員でおかしいなど感じる事があっても言葉にして相手へ伝える事は難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	身体拘束をしていない	7	3	0	0	10
②	虐待は行われていない	2	6	2	0	10
③	プライバシーが守られている	1	7	2	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	4	6	10
⑤	適正な個人情報の管理ができる	1	9	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束はしていない。個人情報の管理は適切であると思っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 言葉での虐待(待って下さい等)があるかもしれない。皆さんのプライバシーが守れているかが自信がない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
普段から職員間でも感謝の言葉を伝えあえるように意識する。	